

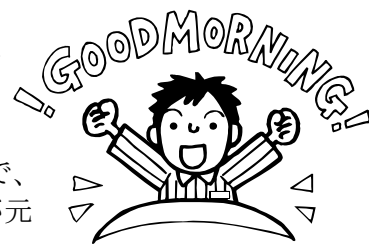
みんな なかよく

平成24年9月6日
山口市立小郡小学校
生徒指導だより

規則正しい生活のリズムに！

夏休み前の終業式で、楽しい夏休みにするために『ひ・こ・う・き』を合言葉に過ごすように話をしました。（ひ・火遊びはしない。こ・交通ルールを守る。う・海や川に子どもだけで行かない。き・危険な場所に行かない。）子どもたちが約束を守り、ご家庭のご協力があったおかげで、夏休みの間大きな怪我や事故もなく無事に過ごすことができ、全校児童が元気に2学期をスタートすることができました。

長い休みの後で、体が慣れるまで少しつらいこともあると思います。早く寝て十分に睡眠をとり、しっかりと朝食を食べて、生活のリズムを早く取り戻しましょう。子どもたちの笑顔が輝き、一人一人にとってみどり多い2学期になりますよう、全職員で見守っていききたいと思います。



2学期の生活目標は……

- ・あいさつ ……『相手より先にあいさつをしよう』
- ・そうじ ……『協力して掃除をしよう。服装を整えよう』（親切掃除）
- ・廊下歩行 ……『右側を歩こう』
- ・言葉遣い ……『目上の人への話し方に気をつけよう』（ていねいな話し方）

目標が形だけに終わらないように、学年に応じ、場に応じ全職員で指導していきたいと思っています。項目の中で特に『あいさつ』については1学期の様子から見てもしっかりできているとは言えない状況です。保護者や地域の方からも同様のご意見をいただいています。学校でもこの実態を受け止めて、あいさつ運動や委員会の活動等で子どもたちのあいさつへの意識を高めていきたいと考えています。あいさつは心と心をつなぐ架け橋です。さわやかなあいさつが響き合う学校や家庭をめざしていききたいものです。

いじめ問題への取組

夏休みに配布した学校便り『そよげ風』に学校のいじめ対策についてお知らせとお願いをしました。保護者や地域の方からいじめに関する情報をいただいた場合や学校でいじめを発見した場合に、どのように対応していくのかをお伝えします。

1 早期発見への取組

- (1) いじめを許さない学校、学級づくりを進めるとともに、子ども達が発する小さなサインを見逃さないように日ごろから丁寧に児童理解を進めていきます。
- (2) 子ども達の実態を把握するために2週間に1回、3分程度で実施できる「生活アンケート」を行い、悩みや不安等を積極的に受け止めていきます。

2 早期解決への取組

- (1) 保護者、地域の方からの情報やアンケート内容から気になる児童に対して早急に対応します。（担任を中心に、必要により生徒指導主任による事実確認をします。）
- (2) 急を要する児童については、即、生徒指導主任に知らせ、連携を図ります。
- (3) 生徒指導主任は、管理職に相談し、今後の対応策を関係職員とともに決めます。
- (4) 全職員による連絡会にて、対応策の共通理解を徹底します。（実態を報告し合い、課題解決に向けて協議します。）
- (5) 連絡会での共通課題に基づいて学級指導を行います。
（指導内容例…指導内容は、状況により変更します）
 - ①何気なく言った言葉や深く考えないで行った行動がどれだけ人を傷つけるかよく考えさせる。
 - ②自分がやられて嫌な言動は、絶対に行わないという指導を行う。
- (6) 担任を含む関係職員は、いじめが解消されたと確認されるまで、注意深く見守ります。

3 保護者と連携

- (1) 気になる内容については、担任が保護者と連携をとります。
- (2) 学校や学級全体に関係する共通課題については、通信等で発信します。